

水域面積当たりの汚濁負荷量と水質濃度の関係

水質総量規制の指定水域における水域面積当たりの汚濁負荷量と水質濃度の関係の推移を図 - 1、図 - 2 及び図 - 3 に示す（それぞれCOD、窒素及びりん）。水域面積当たりの汚濁負荷量については、水質総量規制が開始された昭和54年度並びに第1次から第4次総量規制の目標年度である昭和59年度、平成元年度、平成6年度及び平成11年度の汚濁負荷量（トン/日）を各水域の面積で除した値とした。また、COD濃度（上層）は、広域総合水質調査（環境省）の結果をもとに、総量規制の目標年度等を初年度とする5ヵ年平均値とした。

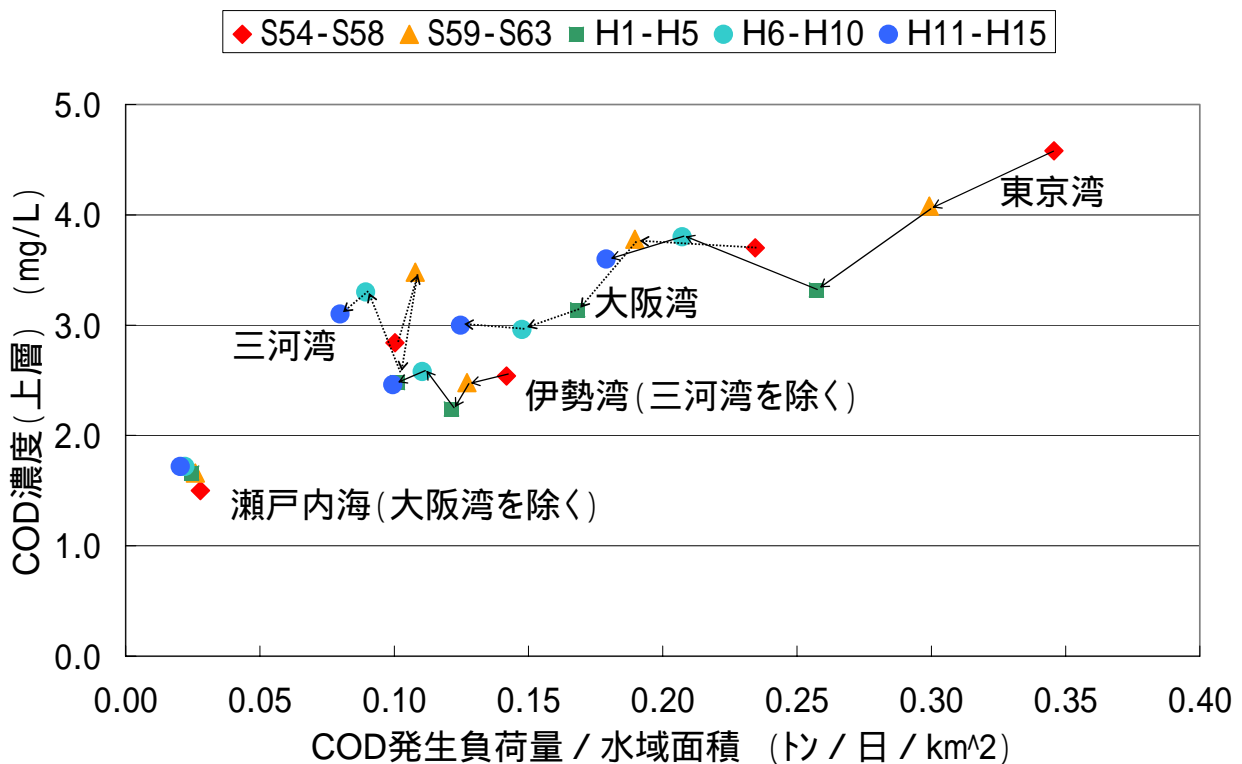


図 - 1 水域面積当たりのCOD負荷量及びCOD濃度の推移

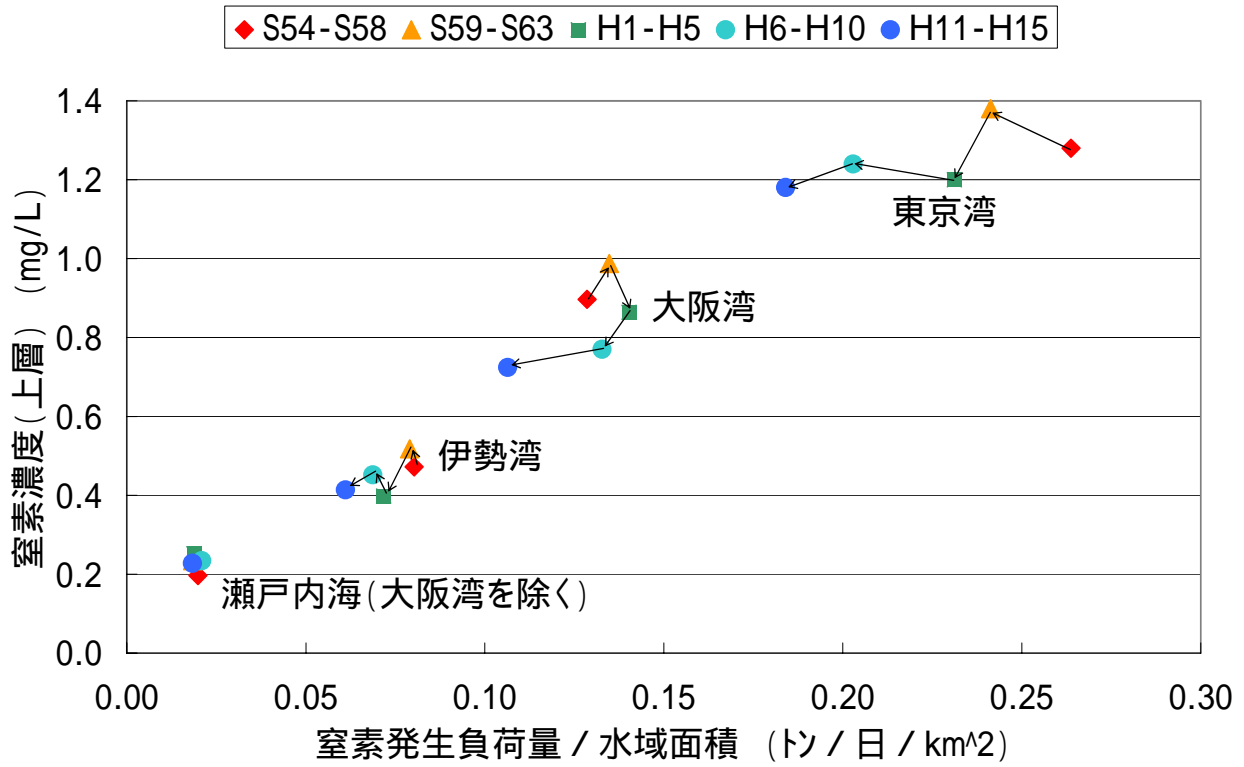


図 - 2 水域面積当たりの窒素負荷量及び窒素濃度の推移

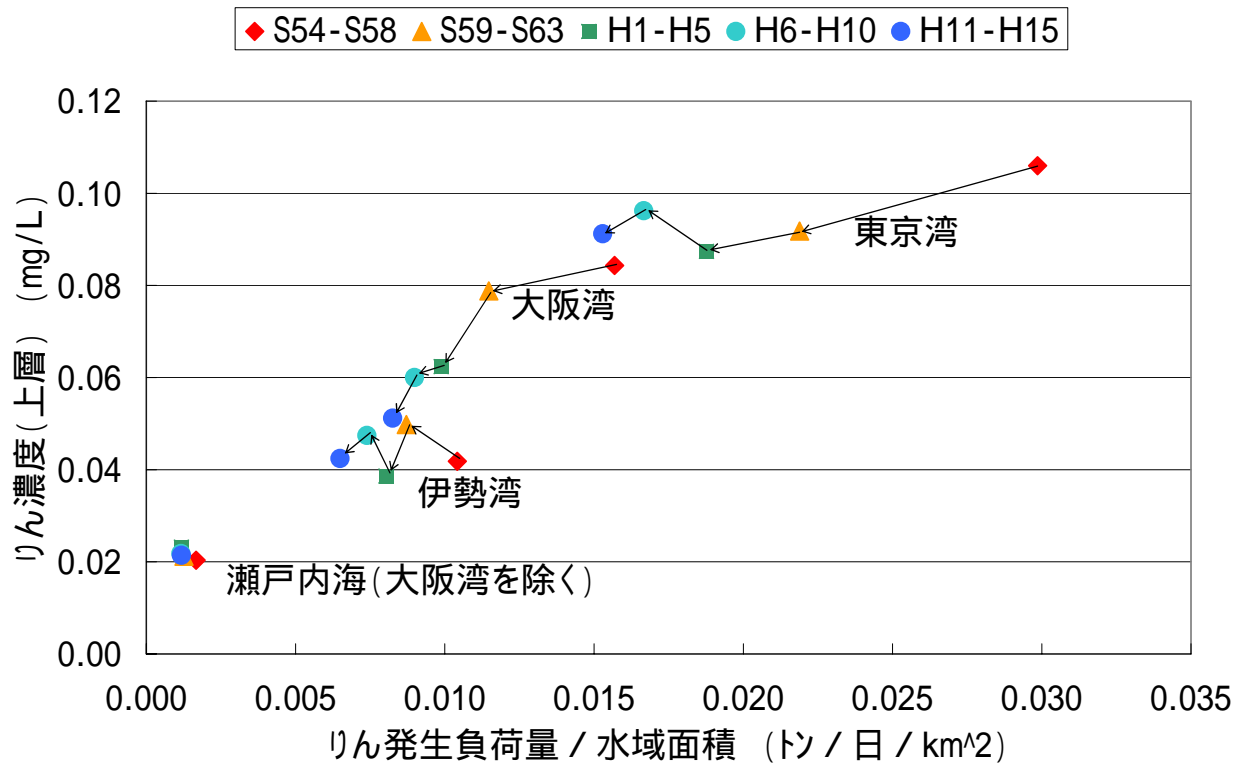


図 - 3 水域面積当たりのりん負荷量及びりん濃度の推移